

会 議 議 事 録

1 会議名	第13次第2回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	令和5年2月21日（火曜日） 午前10時から午前11時15分まで
3 開催場所	寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	<p>（委員） 中村会長、林副会長、松井委員、小方委員、畔上委員、田中委員、三鍋委員、白井委員、寺本委員、松永委員、星野委員、佐野委員、皆川委員、嶋田委員、矢澤委員、平澤委員、酒井委員</p> <p>（事務局） 相田環境部長、里村環境政策課長、平澤環境施設課長、山口環境業務課長、長谷川環境業務課長補佐、小林環境業務課減量推進担当係長、櫻井環境業務課主査、柳橋越路支所地域振興・市民生活課係長、殖栗三島支所地域振興・市民生活課係長、倉地山古志支所地域振興・市民生活課係長、安立和島支所地域振興・市民生活課主任、土田栃尾支所市民生活課係長、大淵川口支所地域振興・市民生活課主査</p>
5 欠席者名	<p>（委員） 高橋委員、阿部委員、諸橋委員、水島委員</p> <p>（事務局） 中之島支所地域振興・市民生活課、小国支所地域振興・市民生活課、寺泊支所地域振興・市民生活課、与板支所地域振興・市民生活課</p>
6 議題	<p>1 議題</p> <p>（1） 令和5年度長岡市一般廃棄物処理実施計画（案）について</p> <p>（2） 令和5年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率（市内）（案）について</p> <p>2 その他</p> <p>高齢者のごみ出しについて</p>
7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度長岡市一般廃棄物処理実施計画について承認された。 ・ 令和5年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率（市内）について承認された。

	・高齢者のごみ出しについて意見等を伺った。
8 審議の内容	
環境部長	・ 環境部長あいさつ
環境業務課長補佐	・ 資料確認
環境業務課長 環境施設課長	(令和5年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画について資料1により説明) (令和5年度 ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率(市内)について資料2により説明)
委員	最終処分計画において、蛍光管の処分が奈良県まで持っていつているのですか。
環境施設課長	現在ほとんど使われなくなりましたが、水銀が使われている蛍光管については、特殊処理が必要であり、できる施設が近県にはありません。適正な処理ができるところまで運搬しています。
委員	資料の差替で数値の差が出ています。250tほど処分量の数値が上がっているのは何故ですか。 前年度と内容が一緒ですが変更できないのですか。目標がはっきり見えない、色々な取組みをしていますが、バラバラで焦点はどこで、どうやったら減量できるのかわかりづらいです。
環境施設課長	資料を確認したところ、最終処分場の残余容量と不整合があり、現状の埋立状況とこれから埋立をする量についても精査が足りなかったため、担当に再度精査してもらい、柿の第一期と第二期に埋め立てる量を修正しました。本日配布した数字が現在の状況となっております。誠に申し訳ございませんでした。
委員	あまりに数字が跳ねていたので、理由を聞こうと思っていたら、今日見たら直っていたので聞きました。わかりました。
環境業務課長	具体的な目標についてですが、この計画の上位計画である「長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」があり、基本計画の中で数値目標が定められています。基本計画に基づいてこの計画が立てられていますが、具体的にこの計画には数値目標が書かれていないので、今後、こちらの計画についても基本計画に基づいた数値やグラフを入れるように考えていきたいと思います。
委員	文章が一言一句一緒というのは考えがあつてのことですか。
環境業務課長	計画には、継続性があります。目標に沿った中で数値的に見ていくのが理想だと思います。
委員	生活排水処理計画について、町内は約170軒あり、下水道普及率が100%に近いが、2軒だけ汚水桝を入れていただけない。行政から相当厳しい条例を敷いてもらわないと我々だけでは限界。くみ取りの場合は、下水道整備に匹

<p>環境業務課長</p>	<p>敵する料金以上に値上げするとか思い切ったことをしないと承知しない。近隣に迷惑をかけている状態。強い要望であり、考えていただけると地域として助かります。答弁をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>下水道課の担当となるため、ご要望をお伝えします。市民の方に強制はできません。委員の話も分かりますが、その方の気持ちも考えなければなりませんし、指導ができるのかも含めて担当課へお伝えします。</p>
<p>環境業務課長</p>	<p>担当課にお伝えします。</p>
<p>委員</p>	<p>町内役員をしていて、環境の方にはフットワーク良く対応してもらいパトロールの方にも感謝申し上げます。</p> <p>資源化率リサイクル率をあげるところで、多額の市税が使われています。もっと減量という面で手を入れるとすると、どこが一番ポイントになるのか、それを市民にどうやって訴えていくのか、お聞かせいただければ、また町内会活動等にも活用できる部分があると思います。</p> <p>燃やすごみの収集について、私自身は今の週1回でいいと思いますが、ある市議員が議会で増やしてほしいという発言があります。どう整理されて今の週1回収集を実施しているのか、前回の審議会でも話があったと思いますが、不勉強なので改めてお聞きしたい。</p> <p>旧長岡市のときに、郊外も、し尿処理について下水道に合わせてということで、工事費について助成措置がありました。担当は下水道課だと思いますが、現在これは5年間の期限付きで廃止になってると思います。私どもの町内でも3軒くらいあり、夏場にひどい近所の方が大変だと聞いていますし、旧長岡でもまだあると思います。整備にはお金の問題が当然あるものですので、そういう補助制度が改めて再度広域合併に伴って復活されれば、材料として動機づけになると思います。来年予算も骨格ができてなかなか大変だと思いますが、下水道課に強く要望させていただきたい。</p>
<p>環境業務課長</p>	<p>減量のポイントは、燃やすごみの週1回収集にも関連しますが、ごみの分別です。コロナ前ですが、いくつかのステーションに出された燃やすごみの中身を毎月調べさせてもらっていました。1つのごみの中に、燃やすごみの他に資源物になるものが入っています。分別されずに燃やすごみに捨てられているプラスチック容器包装材はプラスチック容器包装材へ、生ごみは生ごみへ分別していただきたい。「ごみの分別」の広報が1丁目1番地だと思っています。それを踏まえたうえで、燃やすごみの収集は、分別をすれば中に含まれているプラスチック容器包装、生ごみ、紙類などが減るので、週1回でよいと考えています。「分別された生ごみは発電に、プラスチック容器包装はプラスチック容器包装に再生利用する」と筋道を立てています。今後もごみの分別をしっかりとお願いしていきたいと思っています。「ごみと資源物の分け方出し方」の冊子で、分別をお願いしていますが、携帯でも検索できる「ごみサク」というシステムも入れています。そういうものも利用しながらごみの分別をしっかりとやっていただきたいと考えています。</p> <p>最後の下水道についてですが、要望は下水道に伝えたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>

委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>では、「1 令和5年度長岡市一般廃棄物処理実施計画」「2 令和5年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率（市内）」について、承認いただけますでしょうか。</p> <p>(承認)</p> <p>承認いただけたということで、議事はこれで終了します。</p> <p>次に「次第3その他 高齢者のごみ出し」について、事務局から説明をお願いします。</p>
環境業務課長	<p>長岡市も高齢化が進み、高齢化率は市町村合併後の平成22年4月1日時点は25.2%でしたが、直近の令和5年2月1日では、31.9%となっています。この約10年間で人口は減る中で、高齢者は約12,000人増加しています。長岡市では、高齢者や障害者世帯の在宅生活を支援するため、家庭ごみをごみステーションに持ち出すことが困難な世帯に対し、戸別訪問により家庭ごみを収集する「ふれあい収集」を行っております。その中で、利用者は年々増加傾向にあり、令和5年2月1日現在985世帯が活用されています。平成23年度約10年前と比べ約4倍に増加しています。近年高齢者の生活支援の中でも自助公助と言われております。そこで実際に高齢者の生活に関する総合相談窓口である地域包括支援センターの委員から相談事例などを通して、実態をお話いただければと思っています。よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>では、委員をお願いします。</p>
委員	<p>「地域包括支援センター」は通称「包括」とも言われています。長岡市には地域包括支援センターが11か所あり、私が所属しているところはそのうちの1つです。</p> <p>日々ごみの相談も受けていますが、985世帯もふれあい収集を利用していることに驚いています。10年前から約4倍に増加したということで、話を聞き、すぐ身近なものに感じて色々考えさせられました。そんな中、私達が日々支援しているケースについて、最近の話も踏まえて聞いていただけたらと思います。</p> <p>生活する中でごみは毎日排出されますが、年齢を重ねると筋力低下があり、病気や骨折をすると今までできていたことができなくなります。今までカートを押してごみステーションまで行っていたのにできなくなります。割と分別はできるけど、ステーションまで持っていくことができなくなることが多いです。弱った姿、辛そうにしている姿を地域の人に見られたくないという気持ちが大いにある人もいます。誰でも心理としてわかりますが、近所の人や民生委員、地域包括支援センターに相談してもらえれば、早急な対応が可能です。躊躇され、私達が訪問した時には家の中がごみ屋敷、ご本人の状態も在宅生活ができない状態まで低下し、まだまだ家で生活したいのに、残念ながら自分の本意ではないけど施設へ入所せざるを得ない状況の方も多々います。</p> <p>そんな中で地域で支えてくださり、うまく行った事例が最近あります。92歳の女性の方で、独居（夫と死別し子供はなし）で、普段から近所付き合いがあり、挨拶をしたり、免許返納後は近所の方が買い物に行くときに声がけを</p>

	<p>してもらったり、重くて買えないお米や家庭菜園の肥料もコメリから買ってきってもらったりしていました。その方が分別はできるけどステーションまで行けなくなり、近所付き合いで「ずっと家にいる間は私がやりますよ」と近所のお父さんがごみステーションまでのごみ出し支援をしてくださった近所愛が溢れた話がありました。このような事例は多くはありますが、ご近所にお礼をしないといけないなど色々頼みにくいことから、段々ふれあい収集に移行する方もいますが、近所の互助の力を借りて生活してる方も沢山います。</p> <p>また、お子さんがいても遠方で、子どもから地域包括支援センターに相談があり、ふれあい収集につなげるケースも多々あります。</p> <p>また、リハビリ意識・介護予防の意識が高い方で、通年でふれあい収集を利用するのではなく、12月から3月の雪が降る間だけお願いしたいということで、「どうしてですか。」と聞くと「雪が消えれば、私はシルバーカーを押してゴミステーションまで行けますし、これだって介護予防です。」と言われ、「なるほど、地域包括支援センターは自立支援の目標があるのに、1年を通してと余計な勧めをしてしまったな。」ということで、冬期間だけふれあい収集を利用している方もいます。春になり、ごみ出しで時々ご近所の人と挨拶したり顔を見てお話をすることを生きがいに行っている方でした。希望通りにできるよう、私達も市と連絡・連携しています。</p> <p>現実には少子高齢化の時代です。「自助」「互助」などいい言葉もありますが、「公助」「共助」という公的支援やサービスなどではニーズに答えることができません。また、コロナ禍となり社会環境の変化もありますし、既存の制度がなかなか使えない、全部ニーズを満たすことができないということが課題でもあると思います。</p> <p>そんな中で近所付き合いやお茶飲みが果たす役割も大きいと思います。近年は自助や互助の部分が希薄になっている時代ですが、中には近所愛に溢れる事例も沢山あります。高齢者の方たちが気付かぬところでも自然と自分でSOSを出している状況もありますので、それらに気づいた人が窓口につなげるというだけで支援にもつながります。地域包括支援センターも日々高齢者世帯や単身世帯には訪問するようにしていますが、範囲が広く、相談内容も多問題を抱える家族が増えております。近所の皆さんの力が1番大切ではないかと感じています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。事務局の説明及び委員のお話に質問などありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>地域では、環境美化委員が中心になり、ごみが出せない所は必然的に工面してやっている町内があります。困るのは、不法投棄する人です。栃尾では流雪溝の中にごみを投げる人もいます。それを防ぐために我々は出せない人は未然に言ってもらい、美化委員が回って出しています。不法投棄が出ると困るので高齢者のごみ出しを率先して防いでいます。参考にしてください。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>ふれあい収集制度にはお世話になっている方が沢山いて、私もその道渡し役をさせていただき、大変助かっています。また、地域包括支援センターの担当の方にはお世話になっています。</p> <p>ふれあい収集だけではないのですが、町内運営では、個人情報条例が大きな壁になっています。地域包括支援センターに聞いても、民生委員に聞いても個人情報大きな壁になっていて、民生委員もなかなか全部把握できていません。環境業務課の担当者には失礼なことを言いましたが、ふれあい収集</p>

<p>環境部長</p>	<p>も他の情報も町内会長はある程度全て把握していないと町内運営がうまく行かない所があります。民生委員は福祉総務課の担当ですが、民生委員も限度があります。法律が優先するので、縦割り行政の中で連携をとっても大変な部分はあると思いますが、何とかならないでしょうか。個人情報を出されるとなんでもそこでストップしてしまい、それ以上踏み込めません。部長いかがでしょうか。</p> <p>私の町内もどこの家が独り暮らしでどういう状況にあるのか、あそこの家のおばあさんが大変だとか、あそこの家が最近見ないなど話を聞きますが、調べたり聞きまわるとはなかなかできない状況です。私の町内では、班長さんが市政だより等の色々な配りものする際に声がけをし、何かあったら町内会長に相談しているというのが実態です。個人情報については、我々行政もそこまで立ち入り調べることはできない状況です。おそらく地域包括支援センターも個人情報の部分は壁ではないかと思っています。一方で、私はこうだと自ら話される方も何人かいて、それが当たり前になると状況も変わってくると思います。地域がしっかりと隣近所を支えあうよう、声がけを含め町内運営を身近なところからやっていくことが大切なと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私はマンションに住んでおり、役員、班長をやっています。マンションの人は自分の年齢や家族構成を教えてくれません。お祝い金などを持っていくたくても年齢を知られたくないので断られます。地域によって教えたくない人もいるんだなど、マンションは交流がなく、どこにどんな人がいるのかわからず、亡くなった時に初めて知る状況もあるため、難しい時代だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にございませんでしょうか。日頃の生活の中で感じてらっしゃることで結構です。</p> <p>では、事務局いかがでしょうか。</p>
<p>環境業務課長</p>	<p>委員の貴重なお話のとおりです。ふれあい収集は、今まで地域で頑張ってきたけど、どうしてもできなくなり、地域包括支援センターなりの支援を受けて市に申請が来ます。申請を受け、市は訪問して判断・了解しますが、結局今まで遠方に住んでいた子供が出していたけど来れなくなったとか、近所の方が出していたけど近所の方も高齢になったなどでふれあい収集を申請される方が多いです。最初は自助、自分でできなくなり共助、どうしてもできなくなり公助、セーフティネットとしてふれあい収集を行っている自負があります。先ほど92歳の事例がありましたが、90代単身や90代高齢者世帯の要介護1や要支援の方ばかりで重度の要介護の人はいません。地域で最期まで暮らしたいという元気な人ばかりです。元気だけど、足・腰が悪くステーションまで行けず、ふれあい収集の申請をする方が沢山います。</p> <p>ふれあい収集も現在985世帯利用しており、利用料は無料で税金で行っておりますので、増え続けると今後、予算や体制を考えていかなければならないと思っております。利用者は右肩上がりです。安易に戸別収集を行ってしまうと大変なことになりますので、実態をよく確かめ、一定の規則を守りながら相手の事情をよく考えたうえで対応していきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で本日予定していた審議は終了いたします。貴重なご意見、活発なご審議いただき、ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。</p>

環境業務課長補佐	<p>会長ありがとうございました。 最後に環境業務課長から閉会のごあいさつを申し上げます。</p>
環境業務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境業務課長あいさつ
環境業務課長補佐	<p>以上をもちまして第2回審議会を閉会させていただきます。 ありがとうございました。</p>
9 会議資料	別添のとおり